

地域住民の憩いの場「えびな南サロン」の展開について

☞**取り組み内容のポイント**☞ 老人ホームのロビーを趣味活動の場所として地域住民に提供する。編み物や折り紙、着物や洋服のリメイク教室などが開催され、地域の方々の憩いの場となっている。また、参加メンバーが福祉活動を肌で感じることで、施設の強力なサポーターとしても活動していただいている。

神奈川県

社会福祉法人

中心会

〒243-0427 神奈川県海老名市杉久保南3-31-6

TEL：046-238-7681 FAX：046-238-7682

●法人創設年

昭和28(1953)年

●法人実施事業

①経営施設数合計：6施設

②経営施設・事業【種別毎の数】：

経営施設・事業【種別毎の数】：

養護老人ホーム…1、特別養護老人ホーム…4、訪問介護…1、訪問入浴介護…1、通所介護…2、短期入所生活介護…3、居宅介護支援…2、地域包括支援センター…2、児童養護施設…1

●法人の理念・経営方針

私たちは私たちが活動する地域社会において、自分や自分の大切な人が抱える心身の障害や生活環境上の問題によって、様々な「不自由」「生きにくさ」を現に経験し、または経験するであろうリスクを有する人々に対して、適切な専門性の担保された養護、介護、及びこれに関する諸サービスを提供することを通じて、誰もが自分の存在に誇りを持ち、生きる喜びを享受するとともに、自分の家族や隣人の存在を素直に喜ぶことができる社会づくりに貢献します。

●取り組みの定款・事業計画上の位置づけ

①定款への記載：記載していない

②事業報告・計画への記載：記載している

●取り組みを実施している施設の概要

【施設名】：えびな南高齢者施設

【施設種別及び利用定員】：

特別養護老人ホーム 定員50名・養護老人ホーム 定員50名

●活動内容

◇活動開始年：平成22(2010)年10月

◇活動の対象者：地域住民

◇活動の頻度・時間

月5回、1回あたり2時間

●活動実施の背景、実施にいたった理由

施設が持つ資源を地域住民の方に活用していただけではどうすればよいか、施設職員・ボランティアでプロジェクトチームを発足させた。そのプロジェクトチームで話し合いの場を何回か持ち、「ロビーで手芸品作りなどの教室を開催すれば、地域の方々の憩いの場所になり、また玄関近くのロビーで行う事により、散歩で施設の前を通る人も、施設に足を向けるきっかけになるのではないかな」という意見でまとまった。

施設で地域の方々が日常的に活動していただく事により、施設と地域の方々がお互いにサポートする体制が築かれるようになることも期待して、この事業を発足させた。

●実施内容

施設のロビーを趣味の場として開放して、地域の同好の士の方が集まり、現在は4つの「教室」

が開催されている（編み物、折り紙、服などのリメイク、草履作り）。講師がいる教室もあれば、参加者がお互いに教えあう教室もある。

開催回数は月平均5回。参加者は、3人から15人くらいで、ほとんどの方が施設の近くに在住する主婦の方である。

施設はロビーを開放するだけではなく、毎月案内のチラシを作成し、自治会の協力を得て、そのチラシを配布している。また参加者のリクエストにより、施設職員が講師となって、10分程度の「ミニ福祉教室」を行う事もある。

●活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

毎月定期的に各種の教室を開催する事により、多くの方々に施設に足を運んでもらえるようになり、施設で開催するバザーなどの行事が活性化した。また入所している高齢者も教室に興味を持つ人が多く、参加者自らの発案で高齢者の方を対象

とした手芸教室を計3回開催する事ができて、多くの入所者の方に喜んでいただいた。また包丁研ぎのプロである入所者の方を講師に迎え、地域住民の方が生徒になる「包丁研ぎ教室」も開催できた。

「ミニ福祉教室」は“リメイクサロン”で定期的で開催した。テーマは施設の入所方法や福祉サービス、遺言の書き方など、身近なことを題材にした。平成24(2012)年4月に当法人では施設(小規模多機能型居宅介護・サービス付き高齢者住宅)を新設したが、その際参加者達が積極的に内覧会の案内チラシを配ってくださった。その際、積極的にPRもして下さり、当法人が期待する以上のサポートをしていただいた。

◎ 今後の展開

現在多くの教室のメンバーが固定化され、それぞれの教室が参加者同士の交流の場となっている。その関係性を大事にしながら、新たなメンバーにも気軽に参加していただけるように、施設は積極的に広報を行い、現在の参加者と新たなメンバーの橋渡しを行っていく。



サロンの参加メンバー



作業中の様子

また、平成24(2012)年9月に主にサロンの参加者を対象にした「認知症サポーター養成講座」を実施する予定がある。参加者に認知症に対する知識を身に付けていただくことにより、施設をサポートしていただくだけでなく、地域の高齢者全体をサポートしていただく事業を実施する予定である。

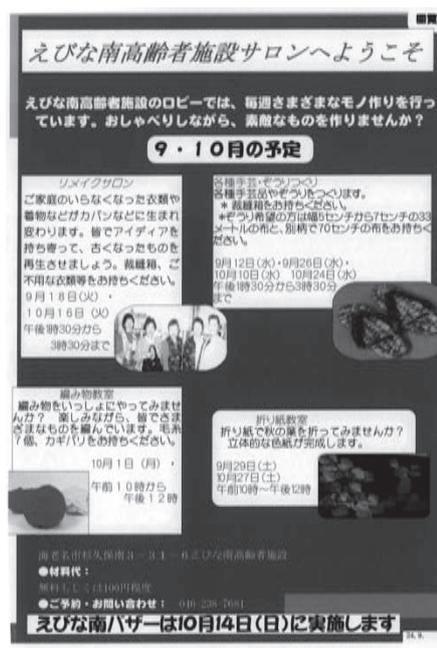
◎ 主な経費や財源及び人員等

※年間あたり			
主な経費(支出)	経費概算額	主な財源(収入)	財源概算額
印刷費等	10,000円		円
<合計>	10,000円	<合計>	0円

取り組みに係わった職員数〔6〕名
 (職種等:管理職、生活相談員、介護職員、管理栄養士)
 ・取り組みを実施している施設の事業規模(平成23(2011)年度決算の事業活動収入)〔753,819〕千円
 ※法人全体の事業規模(同上)〔2,041,885〕千円



サロンで作成した手芸品



町内に回覧しているチラシ